

理事長挨拶

ヒューマンサイエンス振興財団は27年間の財団法人としての活動実績を礎として2013年4月1日に公益財団法人に移行し、今日に至っております。

2014年7月からの新しい体制においては代表理事（会長）竹中登一、業務執行理事（専務理事）佐々木弥生、そして小職が代表理事（理事長）に改めて就任し、評議員、理事ならびに監事の方々とともに公益財団法人の運営を担当してまいります。

なお、2014年4月からは国の健康・医療分野の戦略に関連して弊財団の事業が縮小されましたが、弊財団の定款に謳われております目的“バイオテクノロジー、新素材等に関する先端的、基盤的技術の開発を通じ、国民の健康と福祉に密接な関連を有する医薬品、医療・福祉機器、保健衛生等に係るヒューマンサイエンスの研究及び開発を振興・推進、支援することにより、国民の健康と福祉の向上に貢献すること”の実現に向けて着実に事業を推進いたしております。

事業として、先ず先端科学技術を駆使した創薬・ライフサイエンス・保健衛生等の分野における調査研究がありますが、この調査研究は厚生労働科学研究委託費に依り、また、賛助会員を中心とする体制の下で実施されております。併せて、厚生労働省所管の研究機関の成果が有効に活用され、社会に還元されることを目的とする厚生労働大臣認定TLO事業ならびに厚生労働省の基本方針に則って適正に科学的に動物実験が実施されることを目的として動物実験実施施設認証事業を推進しております。これらの事業にご参画いただくすべての方々から頼もしいお力添えをいただきたいと思っております。

事業推進のための原資は、会員を含む企業を中心に実施される公益性の高い事業に対しては、国からの支援に加え、企業からの支援によるものです。同時に、今後は公益財団ヒューマンサイエンス振興財団独自の収益事業の推進も図ってまいります。

これからも、公益財団法人としての適正な運営・活動に努めるとともに、適切なガバナンスの構築、情報共有の促進そして透明性のあるマネジメントの実現さらには情報の適時発信にも努力してまいり所存です。情報発信につきましては、会員の方々に対して成果を迅速にフィードバックするとともに、広く国民の方々に向けて発信するためにホームページの充実を図るとともに、メールマガジン発行によりきめ細かい情報開示に努めてまいります。

関係各位の一層のご理解、ご指導ならびにご支援を切にお願い申し上げます。



理事長
高柳 輝夫